

令和 8 年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

令和 8 年 4 月 23 日（木）、全国の小学校第 6 学年及び中学校第 3 学年の全児童生徒を対象に実施された令和 8 年度全国学力・学習状況調査の調査結果が順次、文部科学省・国立教育政策研究所から公表されています。

この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するために実施するものです。

各教科の平均正答率（ポイント）の比較

	豊栄中	東広島市	広島県	全国
国語	65.0	64.0	64.0	63.9
数学	64.0	58.0	57.0	57.0

各教科の無解答率（ポイント）比較

	豊栄中	広島県	全国
国語	2.7	4.1	4.9
数学	3.3	8.7	10.4

平均IRTスコア

	豊栄中	東広島市	広島県	全国
英語	525	499	493	499

1 国語の調査結果の概要

本校の平均正答率は、学習指導要領の内容における「知識及び技能」の(2)情報の扱い方に関する事項が全国平均を10ポイント以上下回っており、今後の課題である。また、「思考力、判断力、表現力等」のA 話すこと・聞くことは、全国平均を5ポイント、C 読むことは全国平均を9.2ポイント上回っているものの、B 書くことは、全国平均を5.2ポイント下回っており、今後の課題である。問題形式別にみると、記述式問題の正答率が全国平均を12.3ポイント上回っている。選択式と短答式問題の正答率は、全国平均とほぼ同等である。無解答率は、全国平均を2.2ポイント下回っており、諦めずに解答しようとする粘り強さが見られた。今後も、授業等を通して、じっくり問題に向き合い解答する意識づけが必要である。

学習指導要領の内容並びに評価の観点及び問題形式における各区分の平均正答率（ポイント）

分類		区分	豊栄中	広島県	全国
全体			65.0	64.0	63.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	64.0	62.1	63.0
		(2)情報の扱い方に関する事項	60.0	70.4	70.4
		(3)我が国の言語文化に関する事項	—	—	—
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	68.9	64.2	63.9
		B 書くこと	62.2	68.1	67.4
		C 読むこと	68.9	61.1	59.7
評価の観点	知識・技能		63.3	63.4	64.2
	思考・判断・表現		66.7	64.5	63.7
	主体的に学習に取り組む態度		—	—	—
問題形式	選択式		71.1	72.3	72.7
	短答式		55.6	56.2	55.8
	記述式		57.8	47.1	45.5

2 数学の調査結果の概要

学習指導要領の領域における全領域において、県・全国平均を上回っている。特に、C 関数 11.9ポイントと大幅に上回っている。評価の観点においても、知識・技能、思考・判断・表現共に県・全国平均を上回っている。特に思考・判断・表現は12.6ポイントと上回っており、豊栄中学校で取り組んでいる表現力の向上が、結果として反映されていると見ることができる。無解答率は、県・全国平均を下回っており、分からない問題に直面した際でも、諦めずに解答しようとする粘り強さが見られた。

学習指導要領の内容並びに評価の観点及び問題形式における各区分の平均正答率（ポイント）

分類		区分	豊栄中	広島県	全国
全体			64.0	57.0	57.0
学習指導要領の領域	A 数と式		74.7	68.1	67.8
	B 図形		55.0	47.8	48.7
	C 関数		66.7	54.7	54.8
	D データの活用		56.7	52.9	53.5
評価の観点	知識・技能		67.8	62.3	63.0
	思考・判断・表現		51.7	39.9	39.1
	主体的に学習に取り組む態度				

問題形式	選択式	71.1	59.0	59.3
	短答式	66.7	63.4	64.2
	記述式	51.7	39.9	39.1

3 英語の調査結果の概要

本校の英語力は、平均IRTスコアが全国平均を26ポイント上回っており、「聞く・読む・話す・書く」の全領域の大半の問題で広島県の平均値を大きく上回っている。英語でまとまりのある文章を書く記述式問題や話す問題において、本校の無回答率は2問を除くすべての問題で「0.0ポイント」であった。全国平均の無回答率（記述式：8.7ポイント～14.2ポイント、話すこと：11.3ポイント～17.0ポイント）と比較しても、最後まで諦めずに粘り強く英語を話したり書いたりしようとする「主体的に学習に取り組む態度」がよく身に付いていると言える。一方で、日常的・社会的な話題において、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を発信する力には課題が見られた。また、社会的テーマについて理由を添えて即興で意見を構築する表現力や、論理的な記述力についてもさらなる育成が必要である。今後は、生徒の表現に対する前向きな姿勢を活かしつつ、論理的な発信力を高める指導の工夫が必要である。

4 生徒質問紙の回答結果の概要

① 規則正しい生活を身に付ける

(1)(2)においては県・全国平均を少し下回っているが、概ね肯定的な解答が多い。規則正しい生活の基盤となる朝食の摂取と、起床・学習開始・就寝時刻の「三点固定」は、中学生の心身の安定と自律的な学習習慣の確立に不可欠である。朝食には体温を上げて脳へのエネルギーを補給するだけでなく、体内時計をリセットして脳と身体を活性化させる重要な役割がある。また、生活の基点となる3つの時刻を固定すれば、行動がルーティーン化し、生活リズムが安定して限られた時間を有効に使えるようになる。このように見通しを持って机に向かう経験は、計画的に学習を進める自己管理能力を育み、それは確かな学力向上へとつながるだけでなく、将来社会に出てから自立して生き抜くための大きな力となる。

関連する質問事項の肯定的回答の割合（ポイント）

質問番号	質問事項	豊栄中	広島県	全国
(1)	朝食を毎日食べていますか	86.7	91.0	90.9
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	80.0	81.9	80.5
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	100.0	93.2	92.4

② 自己肯定感・自尊感情を高める

すべての項目で、県・全国平均値を上回っている。特に、「将来の夢や目標を持っていますか」という項目は25ポイントも上回っており、少人数教育で生徒一人一人に細かく目を配りながら教育活動を行っている効果が顕著に見られる。「自分には、よいところがあると思いますか」の項目も肯定的回答が100%であり、自己肯定感を涵養できている教育活動を今後とも継続していくことが求められる。

関連する質問事項の肯定的回答の割合（ポイント）

質問番号	質問事項	豊栄中	広島県	全国
(8)	自分には、よいところがあると思いますか	100.0	85.5	84.0
(10)	将来の夢や目標を持っていますか	93.3	68.7	67.6
(11)	人が困っているときは、進んで助けていますか	100.0	91.0	90.8
(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	100.0	96.1	95.1
(14)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	100.0	96.4	95.9
(17)	友達関係に満足していますか	93.3	91.9	91.2

③ 自ら考え、判断し、表現する

「地域や社会をよくするために何かしたいと思いますか」という項目は、93.4%が肯定的回答をしており、県・全国平均を20ポイントも上回っている。これは地域資源を利用した総合的な学習等の成果と考えられる。学級の生徒との間の話し合い活動についても、肯定的評価が100ポイントであり、日頃の生徒の自主的な活動の中で自ら考え判断し表現することができていると考えられる。

関連する質問事項の肯定的回答の割合（ポイント）

質問番号	質問事項	豊栄中	広島県	全国
(16)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	80.0	79.6	78.6
(33)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	93.4	73.4	72.3
(42)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	100.0	87.1	87.0
(50)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	93.3	79.2	77.8